



令和4年6月7日

## 第23回物流環境大賞の受賞者を決定

### -大賞は日本通運株式会社応募案件に決定-

一般社団法人日本物流団体連合会（池田潤一郎会長）は、選考委員会（委員長：流通経済大学（学校法人日通学園）野尻俊明理事長）の審議を経て、第23回物流環境大賞の受賞者を決定した。

物流環境大賞は、「CO2排出量の可視化による脱炭素社会実現に向けた物流提案支援ツール」を開発した日本通運株式会社が受賞した。

また、低炭素物流推進賞（2件）、サステナブル活動賞（2件）、先進技術賞（2件）、日本物流記者会賞（1件）、特別賞（14件）の各賞を選定した。

各受賞者の概要は別紙の通りである。

なお、表彰式は6月27日（月）15時より、第一ホテル東京にて開催する。

以上  
事務局：細野

## 第23回表彰受賞者の概要

### 物流環境大賞

受賞者：日本通運株式会社

功績事項：CO2 排出量の可視化による脱炭素社会実現に向けた物流支援ツール

国内ネットワーク輸送において CO2 排出量を可視化する日本初の検索ツール「ワンストップ・ナビ」を開発した。

このシステムは発着地、貨物重量等を指定すれば、誰でも輸送モード別のリードタイム、CO2 排出量を一括で算出可能。また会員登録により運賃も検索可能で、環境への配慮を含めた顧客への最適な輸送モード提案につなげている。

開発にあたり輸送距離の精緻化のため外部地図サービスと連携、顧客が算出結果を外部に公表できるように第三者検証による認証を取得した。

この仕組みを活用した「エコトランス・ナビ」は、過去の輸送実績から削減可能な CO2 排出量を可視化、脱炭素に取り組む企業のモーダルシフトを強力にサポートするシステム。

これらにより、ユーザーの環境意識の高揚を図る仕組みを構築し、環境負荷低減を率先する取組みを行っている。

### 低炭素物流推進賞（2件）

受賞者：味の素株式会社 物流企画部

F-LINE株式会社 常温本部 南関東支店 マルチモーダルサービスセンター

功績事項：“持続可能な社会実現に向けた取り組み” 未来につなぐ物流の構築

関東と関西間の食品輸送について、トラック輸送から鉄道・船舶輸送へ転換し、CO2 削減とドライバーの負担軽減を実現した。

両社で月 1 回定例会を実施して個別ルートごとのモーダルシフト難易度を共有化したほか、リードタイムを1日延長することに合意、また、翌々日着ルートのリードタイムから移動中の日曜・祝日を除外することにより月～土の週間の波動が減少、毎日納品が可能になり、荷役作業の平準化や車両手配の負担を軽減した。

受賞者：佐川急便株式会社  
東京九州フェリー株式会社

功績事項：横須賀～新門司間高速フェリーに大規模転換～大幅なCO2削減・労働環境改善・レジリエンス強化～

関東から九州への宅配便の輸送について、トラック輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実施し、安定的な長距離輸送とCO2削減、ドライバーの運転時間の短縮を実現した。

モーダルシフトにあたっては、大規模な転換になるため、フェリー申込方法、シフト台数、ターミナルへの到着時間等、両社で綿密に打合せを行い、安定した定期輸送を確保したほか、トラック輸送からトレーラー輸送に転換し輸送台数を減らすことによって、さらなるCO2削減を実現した。

## サステナブル活動賞（2件）

受賞者：株式会社クラベ

功績事項：商品センター（Logistics Center）を基点とした物流CO2削減

静岡県の都田北工場を基点とした海上コンテナのラウンドユースや内貨転用、輸送の集約、免税リターナブルトレイ、ボビンの再利用などの取組みにより、CO2削減を実現した。

受賞者：株式会社東芝

SBS 東芝ロジスティクス株式会社

功績事項：コンテナ本数削減・積載効率向上のための製品開発まで遡った連携改善取り組み

二次電池の輸送において、製品の包装設計を見直し、積載率向上によるCO2削減を実現した。

従来、パレットと製品のサイズ・形状が適合しておらず、パレットに隙間が生じていたことから、製品サイズをパレットに合わせて最適化、さらに顧客の製造工程でハンドリング方法を変更することで包装の形状も変更することによりコンテナ積載数を最大で1.9倍まで上昇させ、コンテナ数を大きく削減した。

製品仕様が定まってからのロジスティクス視点の製品改善提案の導入は難しいが、今回、製品開発段階から、ロジスティクス視点での取り組みも参画したことで輸送効率を向上させることができた。

## 先進技術賞（2件）

受賞者：株式会社キョクレイ

功績事項：太陽光発電設備による環境負荷低減と省エネ型省力化機器による庫内作業自動化推進

神奈川県の本牧物流センターに省エネ型省力化機器（パレット搬送型AGV）4台と太陽光発電設備を導入し、CO2削減および自動化による作業負担軽減を実現した。

AGVの導入においては、搭載センサーによる状況の自動認識機能をもたせることで、有人フォークリフトと交差するエリアでの安全性を確保した。

受賞者：ユニ・チャームプロダクツ株式会社

住友精化株式会社

井本商運株式会社

株式会社バンテック

株式会社日立物流

功績事項：海上コンテナ転用による資材国内輸送と同一コンテナでの製品輸出で環境負荷低減に貢献

兵庫県から福岡県への紙おむつ資材の輸送について、トラック輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実施し、CO2削減とドライバーの負担軽減を実現した。

モーダルシフトにあたっては、積載量の大きい海外輸出用 40HC コンテナを使用することでトラック台数を半減。荷下ろし後のコンテナは、福岡県から海外への紙おむつの輸出品輸送に活用し、紙おむつ資材の国内輸送と製品の輸出品輸送を同一コンテナで行うというスキームを構築した。福岡県での積み込みには自動バンニングマシンを導入し、荷役時間削減も実現した。

## 日本物流記者会賞

受賞者：いすゞ自動車株式会社

功績事項：大型 LNG トラックの量産車開発

国内商用車メーカーとして初めて、CO2削減につながる大型 LNG トラックの開発・量産化に成功した。

2018 年度から行ったモニター車による実証走行では、同級ディーゼル車比 10% 程度の CO2 削減性能、充填時間に関してはディーゼル車とほぼ同等、航続距離は 1,000km 超の実力を確認した。

## 特別賞（14件）

受賞者：いすゞロジスティクス株式会社  
株式会社牧野フライス製作所  
株式会社住友倉庫

功績事項：コンテナラウンドユースを活用した CO2 排出量削減の取り組み

神奈川県から山梨県への輸入工作機械用部品の輸送と、神奈川県内での輸出入車両部品の輸送について、片道が空送であった両社の輸送をコンテナラウンドユースにより1本化し、輸送を同日に完了させることで、CO2削減及び港湾地区での空コンテナ搬出入作業の省略によるドライバーの負担軽減を実現した。

受賞者：SBS 東芝ロジスティクス株式会社

功績事項：共配運送の効率化による車両台数の削減（輸送 CO2 排出量の削減）

従来、配送担当者の経験によって自動配車計画を補っていたものを、各荷主の異なる商流情報を読替るデータベースを構築し、自動配車の精度を最適化することで、積載率向上による CO2 削減を実現した。

受賞者：SBS 東芝ロジスティクス株式会社

功績事項：上海発香港向けモーダルシフトによる輸送 CO2 排出量の削減

上海から香港への半導体トランジスタ・IC製品の輸送について、トラック輸送から鉄道輸送へ転換し、CO2削減を実現した。

受賞者：SBS 東芝ロジスティクス株式会社

功績事項：棚搬送ロボットシステムと太陽光発電設備を導入し、荷役生産性向上と省エネ化の実現

千葉県の北関東支店に、棚搬送ロボット(AGV)20台、ワーキングステーション5基、太陽光発電設備を導入し、CO2削減および作業負担軽減を実現した。

受賞者：SBS 東芝ロジスティクス株式会社

功績事項：中重量物の電機製品のSDGs視点での包装3R改善活動  
(1) Reduce と Reuse の取組：受変電システム用変圧器サプライチェーンの一貫梱包導入による負荷軽減活動  
(2) Recycle の取組：電機製品一括集合梱包の木箱から強化ダンボール化と資材調達の定期便利用

2つの梱包形態を見直し、CO2削減を実現した。

- (1) 三重県から東京都への変圧器の輸送について、従来は使い捨てのすかし木箱を活用していたが、簡易梱包に変更し、更に東京都からの再出荷でも再利用することで、資材(廃材)削減によるCO2削減を実現した。
- (2) 東京都から海外への輸出品(電機製品)の輸送について、梱包資材を木箱から強化ダンボール箱に転換し、CO2削減、作業負担軽減を実現した。なお、強化ダンボール箱の調達には社内定期便の空きスペースを活用した。

受賞者：山九株式会社

株式会社サンキュウ・トランスポート・関西  
日機装株式会社

功績事項：お客様との共同改善による医療部材輸送のモーダルシフト化(省力化・CO2削減)

佐賀県から静岡県への医療部材輸送について、荷主が出荷受入側の荷量を調整することで、トラック輸送から海上輸送へ転換し、CO2削減およびドライバーの負担軽減を実現した。

受賞者：DSロジスティクス株式会社  
株式会社日新  
日本通運株式会社四国支店

功績事項：松山港を利用したモーダルシフトによるCo2削減、2024年問題への取組み

愛媛県からアジアへの輸出品（化学原料）の輸送について、輸出に必要なコンテナの輸送を陸送から海上輸送に転換し、輸出港を神戸港から松山港に変更することで、CO2削減およびドライバーの負担軽減を実現した。

受賞者：株式会社ニチレイロジグループ本社  
株式会社ニチレイ・ロジスティクス北海道  
株式会社ニチレイ・ロジスティクス東北  
株式会社ニチレイ・ロジスティクス関東  
株式会社ニチレイ・ロジスティクス東海  
株式会社ニチレイ・ロジスティクス関西  
株式会社ニチレイ・ロジスティクス中四国  
株式会社ニチレイ・ロジスティクス九州  
株式会社キョクレイ  
株式会社ロジスティクス・ネットワーク

功績事項：車両待機問題の緩和・解消に向けた「トラックバース予約システム」による入庫車両接車時間の完全予約制導入

国内30拠点の入庫車両でトラックバース予約システムを完全導入し、トラック入庫車両接車時間の事前予約を可能とし、グループ全体でトラック待機時間の削減およびCO2削減を実現した。



受賞者：日本梱包運輸倉庫株式会社

功績事項：21mフルトレーラー運行と段積みラックの開発・運用による  
輸送積載率向上

宮城県から三重県への電気自動車部品の輸送について、段積みを可能とするラックを開発し、さらに21mフルトレーラーの活用により、1運行あたりの輸送量は最大3倍に増え、さらなるCO2削減およびドライバーの負担軽減を実現した。

受賞者：日本サニパック株式会社

功績事項：自社倉庫間在庫移動における陸送から内航船へのモーダルシフトならびに海上コンテナのラウンドユース

兵庫県から福岡県、神奈川県から北海道へのポリ袋の輸送について、トレーラー輸送から海上輸送へ転換し、CO2削減とドライバーの負担軽減を実現した。

モーダルシフトにあたっては、製品輸入時の40HCコンテナを内貨転用することで空コンテナ返却のドレージを削減、移送後の空コンテナは自社工場（インドネシア）への物流資材返却（輸出）に活用し、ラウンドユースを実現した。

受賞者：株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス  
センコー株式会社  
埼玉南センコーロジ株式会社

功績事項：店舗商品の東西拠点間幹線におけるモーダルシフト（鉄道利用）

埼玉県から大阪府への雑貨の輸送について、トラック輸送から鉄道輸送へ転

換し、CO2 削減およびドライバーの負担軽減を実現した。

受賞者：不二製油株式会社  
センコー株式会社

功績事項：①関東物流拠点の京浜エリアから埼玉県北部移転によるトラック由来 CO2 排出量削減  
②関西→関東移送時の中継輸送導入によるドライバー労働時間削減 の取り組み

従来、不二製油の千葉工場から横浜大黒ふ頭の他社倉庫で保管し、物量が多い時は工場近接の別倉庫で一時保管、横浜倉庫が空いた時に再度移送してから関東一円（埼玉、茨城、栃木、群馬など）に配送していたが、倉庫をより納品先に近い埼玉県に移転させることで、納品先までの走行距離が縮小し、庫腹不足による横持が解消され、CO2 削減を実現した。

また、大阪府から関東向けの輸送においては 12 t 増トン車からトレーラー輸送に一部転換し CO2 を削減、さらに中継輸送に切り替え、ドライバーの負担軽減を実現した。

受賞者：株式会社ユニマットライフ  
株式会社サーフビバレッジ  
川崎近海汽船株式会社

功績事項：飲料水 海上輸送で SDGs （山梨⇄大分 飲料水/返送パレット 幹線輸送）

山梨県と大分県間の飲料・返送パレットの輸送について、トラック輸送から海上輸送へ転換し、CO2 削減およびドライバーの負担軽減を実現した。

受賞者：株式会社ランテック

功績事項：「トレーラーを活用した車両大型化」と「鉄道コンテナへのモーダルシフト」による低炭素輸送

小口混載便(冷凍冷蔵用食品)の輸送について、①宮城県から兵庫県へはトラック輸送から鉄道輸送へ転換、②福岡県から広島県へ、福岡県から兵庫県へは13.5t 冷凍車から20 t トレーラーへ車両を大型化し、2つの輸送ルートを統合することで、CO2削減とドライバー負担軽減を実現した。

以上